

(様式1・小学校用①)

令和4年度学校評価報告

草加市立新里小学校
(令和5年2月9日作成)

1 学校教育目標	
かしこく(知) なかよく(徳) たくましく(体)	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
<ul style="list-style-type: none">・学力の向上 ～教員の指導力・授業力の向上～・豊かな心と規律ある態度の育成 ～通いたくなる学校 新里小～・健康教育の推進・地域とともにある学校づくり・働き方改革の推進	成果○生徒指導・不登校対策委員会を機能させ、早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関とも連携し、児童・保護者に寄り添う支援を行った。 課題●「できる、わかる、ともに楽しい」授業を目指した授業研究を通して、教員の指導力・授業力を向上させるとともに、児童の学力向上を図る。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none">・学校経営目標、方針・校務分掌組織・適所への適材配置・職員会議等の運営・予算の執行・決算、監査等	B	○本年度の重点目標の実現に向け、各主任を中心に学校運営参画意識を持ちながら具体的に取り組むことができた。 ●PDC Aサイクルを生かした学校行事等の改善
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none">・研究組織、計画、実施・校内研修の推進・授業改善への取組・校外研修会への参加・人材育成	B	○草加市教育委員会研究委嘱の自己肯定感・自己有用感を育む授業づくりに関する研究を通して、学び合い高め合う教職員集団となった。 ●全教職員の一步一步を大切にする研究の推進
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none">・保健計画、安全計画・環境衛生の管理・健康観察、安全点検・緊急事態発生時の対応・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○危機管理マニュアルに基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、全教職員で共通理解のもと、蔓延状況に応じた対応を確実に実施することができた。 ●安全計画及び安全点検の実施方法の見直し
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none">・個人情報の管理、保護・施設設備の管理と有効利用	A	○市教委と連携し、経年劣化による危険箇所を修繕した。 ○校内の掲示を刷新し、学習環境の整備を行った。 ○倫理確立全体研修会で個人情報の管理等について教職員全員で確認した。 ●教材備品の整備と有効活用
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none">・学校情報の発信・学校公開の実施・学校運営協議会の推進・地域、校種間連携・PTA 活動の活性化	B	○コロナ感染防止対策をしながら、学校公開やPTAふれあいまつり、学校運営協議会、安全・安心会議等を実施し、保護者・地域との連携を図った。 ●学校情報の発信方法の工夫
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none">・目指す子ども像の共有・15年間を通じたカリキュラムの編成・一貫教育推進のための組織づくり	A	○子ども教育連絡会議等を通して、目指す子ども像や方策を共有するとともに、中学校及び幼稚園、保育園との交流を深めた。(合唱鑑賞、生活科授業招待等) ●15年間を通じたカリキュラムの改善

(様式1・小学校用②)

草加市立新里小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○教育計画のもと、各教科・領域の授業時数を確保するとともに、教育活動の見直し・改善を図ることができた。 ●業前活動（体育朝会・ぐんぐんタイム）の計画的な実施と内容の再考
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校内や各種授業研究会を通して、個別最適な学びと協働的な学びに視点を置いた授業改善を図ることができた。 ●学級経営を核とした指導力・授業力向上
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○授業研究会を通して、ICTを活用した授業や道徳授業の指導法・評価方法を共有し、日々の授業実践に生かすことができた。 ●道徳教育の家庭、地域への啓発、連携
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○夏季休業中に授業の進め方についての研修会を実施し、指導方法の工夫と改善を図った。 ○英語ルームの掲示物、環境整備をさらに充実させた。 ●中学校との接続を意識した授業
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染防止対策をしながら、オンラインでの児童会集会やロング昼休み（縦割り活動）等を計画通り実施することができた。 ●良好な人間関係を構築する学級活動の実施
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○地域人材の活用や体験的な活動を取り入れ、充実した学習を実施することができた。 ●児童自らから問いを見だし、課題を立て、よりよい解決に向けて主体的に取り組む授業の実践
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○事案に対して連絡・報告・相談を迅速に行い組織的に対応することができた。 ○教員の生徒指導・教育相談スキルが向上した。 ●廊下歩行などの新里小よい子のきまりの徹底
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアパスポートを活用して、学んだことを振り返り、新たな学習や生活への意欲につなげることができた。 ●キャリアパスポートと関連付ける総合的な学習の時間の実践
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○草加かがやき特別支援学校や市の教育支援室と連携しながら、個に応じた学びの場や支援方法の工夫・改善を図った。 ○各学校行事において、特別支援学級の児童が通常学級で参加し、互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会を確保した。

⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<p>○司書教諭や学校司書補助員、図書ボランティアが、児童が読書に親しめるように読書ビンゴや読み聞かせ等を行い、全学年の読書量の増加につながった。</p> <p>●家庭でも読書をする習慣の確立</p>
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<p>○情報主任を中心とした校内研修や市教委の指導者を招聘した研修会を通して、ICTを活用した授業実践を共有し、ICTを積極的に活用した授業の実践につながった。</p> <p>●各学年に応じた情報モラル教育の実施</p>
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<p>○校内研修や市の研修会を通して、教職員の人権感覚・人権意識の向上を図った。</p> <p>○人権教育週間において、全学級で人権にかかわるDVDを視聴し、児童の人権感覚の育成を図ることができた。</p> <p>●人権感覚育成プログラムの計画的な実施</p>

(様式1・小学校用③)

草加市立新里小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の定着 「わかる、できる、ともに楽しい授業」を目指した授業研究 指導力向上研修会 家庭学習の取組 	A	<p>○ぐんぐんタイムでは、児童の発達段階や実態に合わせた読み・書き・計算の内容を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、高学年では新聞教材を活用し、読み取る力の定着も図った。</p> <p>○ベテラン教員による指導力向上研修会や「わかる、できる、ともに楽しい授業」に視点を置いた研究授業の実施により、教員の指導力・学力向上を図った。</p> <p>●家庭学習の定着と充実</p>
	②健康・体力向上	<ul style="list-style-type: none"> 体育授業の充実と健康教育の推進 授業外の健康・体力の向上 健康指導と食育指導の充実 家庭・関係機関との連携 	B	<p>○運動会や持久走大会、市内陸上大会等、体育的行事の実施により、児童の運動に取り組む意欲の高揚と体力向上に努めた。</p> <p>○外部講師を招聘した歯磨き指導や薬物乱用防止教室、学校保健委員会による保護者とのラジオ体操教室を実施し、健康教育を推進した。</p> <p>○食育に関する掲示物の充実や栄養黒板の設置等により、児童の食に関する興味・関心を高めることができた。</p> <p>●体育授業の充実と体育朝会の内容を検討</p>
	③家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携 学校応援団との連携 学校運営協議会との連携 地域人材の活用 	B	<p>○安心・安全応援団会議や学校運営協議会を開催し、学校・家庭・地域の課題を共有・検討し、学校経営に生かすことができた。</p> <p>○教育相談日を設定したり、スクールカウンセラーを活用したりして、保護者からの相談に対応することができた。</p> <p>●学校情報の発信方法の工夫</p>

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

- 「わかる、できる、ともに楽しい学び」を目指した授業研究や教員の指導力・授業力を高める研修会を通して、教員が互いに学び合い高め合い、指導力・授業力向上を図ることができた。また、市の学力・学習状況調査の結果から児童の学力の伸びが見られ、授業研究や研修会の成果がよい結果となって表れている。
- 問題行動や不登校に対して連絡・報告を迅速に行い、組織的に早期発見・早期対応につなげることができた。また、これらの対応を通して、教員の生徒指導・教育相談のスキルアップにつながった。
- 学校ホームページの更新をはじめ、学校公開や授業参観、PTAふれあいまつりを開催し、児童の学校生活の様子を保護者へ積極的に発信することができた。また、学校運営協議会や安全・安心応援団会議等を実施し、学校・家庭・地域の課題を共有・検討し、学校経営に生かすことができた。
- 市教委と連携し、経年劣化による危険箇所を修繕し、児童が安全・安心して生活できる環境を整備した。また、特別教室等の整理・整頓を行うとともに、校内の掲示を刷新し、学習環境の整備も行った。

6 次年度の改善策

- 教員のさらなる指導力・授業力の向上と児童の学力向上
 - ・「わかる、できる、ともに楽しい学び（個別最適な学びと協働的な学びの一体化）」の充実。
 - ・日々の授業実践と家庭学習の一体的な充実を目指した学力向上。
- 教員の学級経営力の向上
 - ・「今日も楽しい学校 明日も楽しみな学校」を合言葉に、自己肯定感・自己有用感を育む学級づくりを目指す。
 - ・身の回りの整理・整頓や学習用具の準備、人の話を最後まで聞く等、学習規律を徹底し、自己指導能力の向上を目指す。
 - ・児童一人ひとりを大切にし、新たな不登校児童を生まない居心地のよい学級づくりを目指す。
- PDCAサイクルを生かした学校行事等の改善

PDCAの特にA（改善）の部分を実践を行う。学校行事後に各部で反省点を検討し、次年度の学校行事を効率よく効果的に実施できるようにする。学校行事や教育活動後、即座にC（評価）、A（改善）、P（計画）を行うシステムを定着させる。